

令和5年度 12月定例会会議録

- ◎招集年月日 令和5年12月15日（金）
- ◎開催日時 令和5年12月22日（金） 午後1時30分～午後2時37分
- ◎場所 伊那市役所 庁議室
- ◎出席委員 笠原教育長、北原教育長職務代理者、田畑教育委員、原田教育委員、黒河内教育委員
- ◎出席職員 三澤教育次長、宮下学校教育課長、北林子ども相談室長、矢澤生涯学習課長、早川市誌編さん室長、小島社会教育指導員、福興指導主事、酒井指導主事、伊藤教育総務係長

1 開 会

2 あいさつ 教育長

- ・伊那市教育委員会が後援しているニシザワ文芸コンクールは、今回4回目となり、福与指導主事に出席いただいた。
- ・令和5年度は4分の3が終わろうとしている。私ができなかった研修会の講話を職務代理より担当いただいた。また学校の子どもたちの身体活動のために、原田委員には学校に入って応援いただいた。フィンランドの視察については、費用面、時間の面での制約が大きい中田畑委員、黒河内委員に参加いただいた。
- ・年度末で心配いただくことも多いが、よろしくお願ひしたい。

3 委員のひと言 原田委員

- ・校長会でもお配りさせていただいたシンポジウムに参加した。参加者は90名、オンラインでの申し込みは60名だった。
- ・事例紹介の会場は、新宿区の新宿区立落合第3小学校で行われ、コーディネーショントレーニングの様子を拝見した。体育の時間を使い、1、2年生は1学期中に4回、3、4年生は3回、5、6年生は2回、保育園と同じ場所で連携してやっているとのことだった。
- ・全国学力調査の結果では全国平均を上回るなどの成果につながっており、書く力、考える力が圧倒的に増えたとのことだった。
- ・落合第3小学校の校長によると、5、6年生の子ども達は、毎年、伊那市に来て、市内の小中学生と交流しているとのことだった。新宿区は友好的にお付き合いさせていただいているところと改めて感じた。

4 会議事項

第1 教育長報告

- ・第3回の校長会では、役職定年を迎えられる校長先生方にお話をいただいた。困ったことがあると、教育委員会事務局のスタッフが丁寧に、また速やかに対応してくれたというお話をいただいた。
- ・伊那西小学校が博報賞を受賞したことなどもあった。

第2 伊那市特別支援教育就学奨励費支給要綱の一部を改正する要綱について

- ・学校教育課長から資料に基づき説明
- ・質問、意見はなく、原案どおり決議された

第3 報告事項

- (1) 人権同和教育事業について

- ・社会教育指導員から資料に基づき説明
- ・教育長から「えがおの配布状況について、東春近公民館では、玄関に入ったところに貼ってあり、多くの方がご覧になっていると感じた。」との意見があった。
- ・生涯学習課長から「配信で見ってもらうことは良い方向であり、進めていけば良いと思う。」との意見があった。

(2) 市誌編さん事業の進捗状況について

- ・市誌編さん室長から資料に基づき説明
(質問・意見なし)

(3) 1月以降の文化施設の行事日程について

- ・生涯学習課長から資料に基づき説明
(質問・意見なし)

(4) 共催・後援について

- ・学校教育課長から資料に基づき説明
(質問・意見なし)

(5) その他

- ・学校教育課長より「中学生キャリアフェスは、費用の一部に県の元気づくり支援金を充てている。この度、その支援金を使った優れた事業について表彰があり、中学生キャリアフェスの取組が知事表彰を受けることになった。表彰式には実行委員長である長谷中学校の清水校長先生に対応いただいた。受賞の選定ポイントは、地元の大人や企業の魅力を十分知る機会となる、参加企業側にとっても次世代育成の機会となっている、地域が一体となった取組となっている、との評価をいただいている。」との報告があった。

4 その他

(1) 1月の日程について

(2) 2月以降の主な行事予定について

- ・三澤教育次長から(1)から(2)まで、資料に基づき説明
(質問・意見なし)

5 閉会